

関川村地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）（案）パブリックコメント実施結果

期間：令和6年1月31日（水）～ 令和6年2月9日（金）

意見書提出者数：3名 5件

※意見内容については、一部抜粋して掲載しています。

	ご意見	村の考え方
1	取り組みが多岐にわたることから、各施策が私たちの生活にどのように影響して来るのか、少しわかりにくい。事業別や住民向けなど個別に具体的な事例を交えながら説明していただく機会を設けてほしい。	本計画は内容が多岐にわたるため、今後、概要版をお示しする予定としております。 また、本村の脱炭素の取り組みを発信する「ゼロカーボン WEB サイト」を開設し、この特設サイトで、村民の皆様からのご意見を随時募集しております。 村民の皆様と一緒に脱炭素に取り組んでいくため、いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
2	計画を見ても理解できない。村民向けの説明会を開いて欲しい。その上で意見を募集してほしい。	
3	今回の実行計画案は、内容が多岐に渡り、かつ解読が難しく、全村民が公聴できる説明会の開催を希望する。また、このパブコメ募集期間を十分な長さとは思えない。ついては、即急の説明会開催とパブコメ募集期間延長を求める。	
4	2050年脱炭素化に向けて目指すべき将来ビジョンのイメージ図を関川村に当てはめた時、具体的にどのように村が変わっていくかがイメージ出来ない。これからより詳細でわかりやすい、村民皆が共有できる将来ビジョンが策定されるのか。	より詳細な将来ビジョンについては、策定する予定はございません。今後、「ゼロカーボン WEB サイト」や広報誌を通じて、情報発信を行ってまいります。 いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
5	森林資源利活用について、詳しくは知らないが、木や草を焼いて残った炭が炭素なのだと聞いた。なので、森林や荒地を整備して出た刈り取った草や木を炭にして、それらを農地や山に返してやることも脱炭素につながると思った。山（森林）の土中環境を豊かにしていくことも防災に繋がる。そんなに設備投資しなくても炭を焼く施設ができるとも聞いた。それらもう少し詳しく知りたい。	32 ページに村が実施する森林資源を活用した施策を記載しております。 いただいたご意見の取り組みについては、今後の参考とさせていただきます。